最下階排水合流工法

写真・イメージ	概要(効果・特徴・メリット等)								
	概要	集合管を使用した単管式排水方式の場合、最下階を単独排水系統とせず、上階の排水系統に接続することが出来る工法							
最下階住戸排水を、排水立で管系統に合流。 スラブは 場下階合流システム (積水化学工業(株)より)	工程		設計	躯体施工	内装施工	外構施工			
	効果	 ■最下階の排水配管も上階と同様な配管経路となり、スラブ貫通及びボイド数が削減でき、施工の省力化が図れる。 ■最下階の単独排水管と通気配管が不要になり、ピット内配管数が減り、配管の交差や干渉が減るため配管勾配の確保が容易になる。 ■将来の排水配管の維持管理が容易になる。 							
			Q	С	D	S	Е		
			Δ	0	0	0	0		
	備考注意事項	通気計算が必要。最下階の排水接続位置や通気の取り方など制約条件も多いので注意。(メーカーに検討依頼)性能検証時は、排水時に水封切れがないかなど特に留意して確認する。							
	適用範囲・仕様		・竪管規模14階以下で、洗濯排水を接続する場合はサブ横主管の管径に注意する。・最下階排水専用。(竪管中間階での使用不可)						
	用途	集合位	集合住宅など						